

7月23日(火)

友となって下さる神

聖書朗読 詩篇 146篇

わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたはわたしの友です。
ヨハネ 15:14

友達関係を持つことの「リスク」は、友人に失望させられることがあることです。友人の行動によって傷つく時もありますし、心底サポートを必要としている時にサポートして貰えないこともあるでしょう。時に誤解し合い、関係が複雑化してしまうこともあるでしょう。友人も私たちもみな不完全なので、人間は皆、過ちを犯します。しかし、神様は私たちを決して裏切ったりするようなことはなさいません。聖書に記されている偉人たちが試練に直面した際、彼らをお導きになったのは神様です。イスラエルの民が反抗的だった時、神様はモーセを強められました。ダビデがアブシャロムに追われていた時、神様は友としてダビデに寄り添われました。ダニエルがライオンと向き合う時、勇気を与えられたのは神様です。パウロとシラスがピリピの獄中で喜び歌うことが出来たのも、神様がおられたからでした。

「私たちがいかなる状況に置かれようとも、神様に助けを求めることが出来る」ということは、私たちにとって大きな慰めです。万物を造られた神様は私たちの力や知恵を遥かに超える方であり、永遠に私たちに忠実でいて下さいます。神様に心を向け、私たちの周りの人々とも神の恵みを分かち合いましょ。私たちに、(私たちの弱さに働く)神の恵みが欠かせないのです。

神様は人々探し出し、助け、あらゆる点で

私たちの人生にかかわって下さり、試練と直面する人々を導いて下さっている

そのような神様の恵みに気付いた人々は、

神様に信頼せずにはいられないのである —K.R. シュトルツ

讃美歌 354 牧主わが主よ

祈り 神様、あなたは私たちを決して見捨てず、永遠に愛し導いて下さることを感謝します。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

カンザス州 ウィチタ

デーヴ・ホーレー

7月24日(水)

いつも気にかけて下さるお方

聖書朗読 詩篇 147:1~6

互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。

ガラテヤ 6:2

「誰かに、この苦しみを分かってもらいたい!」そんな思いで心が沈んでいた私が、はっとさせられた時がありました。それは、「神様は、私たちの苦しみを完全に理解して下さっている」ということを知った時です。神様は、私たちが苦しみを経験する以前から、私たちの痛みや苦しみを知り、ご自身の苦しみとして下さっています。神が私たちの苦しみを知って下さっているということは、私たちにとって、大きな慰めだと思えます。私は以前、そのことを、「知識」としては理解していましたが、心からの慰めとして感じるようになったのは、ある大きな試練と直面してからでした。その試練とは、私の息子の余命が短いと告げられたことでした。

主よ、あなたは私を大切に気にかけて下さっています

私の悲しみに寄り添っていて下さっています

救い主である神様は、私を大切に気に掛けて下さっています

—フランク E. グラーフ

私たちが人生で問題に直面した際、その問題が奇跡的・超自然的な方法で解決されるということは、そう多くはないでしょう。多くの場合は、起こった出来事を受け入れる必要があります。ですが、そのような試練の中に置かれた人を大切に気に掛けてくれる誰かが居る時、その人に光が差し込むのです。ですから、その人のために祈る人、その人を理解しようとする人が必要なのです。今日、様々な痛みを抱えている人がおられます。神様の憐みと愛をもって、そうした方々に手を差し伸べましょ。傷を癒すというよりも、その痛みを理解出来るよう寄り添いましょ。

讃美歌 121 まぶねのなかに

祈り 神様、痛みや苦しみを感ずる時にも、共におられ、私を理解して下さることに感謝します。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

ジョージア州 リルバーン/イレーン・Y・マガイアー

7月25日(木)

心からの賛美

聖書朗読 詩篇 149:1、2

私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。「あなたの真実は力強い。」 哀歌 3:22~23

詩篇の最後の5篇(146篇~150篇)はいずれも、「ハレルヤ」と主を賛美して始まり主を賛美して終わります。神の靈感によって書かれた聖書の中には、神を賛美することを勧めている箇所が約250か所もあり、神への賛美が重要であることが分かります。明らかに、神様は私たちが賛美を捧げることを望んでおられる、と言えましょう。

賛美の方法の一つは歌うことです。神様は、私たちの喜びと賛美を、歌を通して受け取られることを好まれます。私たちの歌の技術は、必ずしも高度なものではないかもしれませんが、しかし、たとえ技術的に貧しかったとしても、神様は私たちが捧げる心からの賛美をお聴きになりましたのです。

本日の聖書朗読箇所の1節には、「ハレルヤ。主に新しい歌を歌え。聖徒の集まりで主への賛美を」とあります。個人的なディボーションで歌う時も、礼拝で兄弟姉妹たちと歌う時も、神様は私たちの心からの賛美を喜んで下さいます。

神様は常にご自身を新たに現わされます
神様の慈しみは朝ごとに新しく、救いは夜ごとに新しい
私たちも、日々神様への感謝を新たに捧げよう
—チャールズ・ハットン・スポルジョン

讚美歌 II編 191 主のまことはくしきかな

祈り 神様、あなたへの賛美を、心を込めて、声高らかに捧げたいと思います。イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

アーカンザス州 スプリングデール
ラリー・ブラナム

7月26日(金)

困難な時こそ

聖書朗読 伝道者 7:1~12

悲しみは笑いにまさる。顔の曇りによって心は良くなる。知恵ある者の心は喪中の家に向き、愚かな者の心は楽しみの家に向く。 伝道者 7:3~4

ある若い女子学生が、長い間学校関連のことでストレスの溜まる経験をしていました。そんな彼女は、ある日、家族と行っていた聖書の学びの時間に、イスラエルの民が40年間荒野で放浪したという出来事について、一緒に考えました。そして、彼女の父親は、イスラエルの民が味わった困難からどんなことが学べるかと尋ねました。それに対して彼女は、「私も今は荒野のような時間を過ごしているけれども、その先には約束の地のような祝福があることが分かったように思う」と言いました。このように、人々の経験した試練について考える時、私たちは希望が与えられる場合があるのです。真の知恵は、時に心の痛みや、人生の困難を通して与えられることがあるのです。

私たちは、4節にあるように「祝宴の家」(困難や試練の無い状況)にいる時よりも、「喪中の家」(困難や試練と直面している状況)にいる時にこそ、忍耐を学び、霊的成長をするようです。往々にして、神様は悲しみや困難な状況の中で、私たちの心を神様へと向けさせ、私たちを成長させて下さいます。私たちが困難と直面する時、私たちは同じように困難と直面している方々と思いを共有することが出来ます。また、私たちが困難と直面する時、私たちは神のみこころについて、深く考えさせられます。ソロモンは物質的な富と、この世での権力を求め、それらを手に入れました。しかし、ソロモンはその後気付いたのです。そうした富や権力で真に満たされることは無い、と。この世的な視点で見れば、困難や試練に価値を見出すことは難しいですが、困難や試練の時にこそ神様の御力と平安を見出す祝福があるのです。

讚美歌 298 やすかれ、わがこころよ

祈り 親愛なるお父様、悲しみを感じる時にこそ、あなたにより近付けることを思い起こさせて下さい。イエス様の御名を通してお祈りいたします。
アーメン。 テキサス州 ラボック/アニータ・プライス

7月27日(土)

神様と一緒に旅

聖書朗読 イザヤ 40:27~31

これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。 詩篇 118:24

私は、家族と夏を過ごした山小屋のことを考えることが好きです。私たちは基本的に、ゆったりと過ごしましたが、ウォーキングは毎日しました。毎日同じ時間にウォーキングを始め、なだらかな道を歩くときも、急な坂道を歩くときもありました。歩きづらい道を行くときは、ゆっくり歩きました。ある時、私たちがウォーキングですっかり疲れてしまった時、近所の人「どこまで行くのですか？車で送りましょうか？」と声をかけてくれました。その申し出はお断りさせて頂きましたが、その質問を受けたことがきっかけで、私は、「人生を神様と共に歩む」ということについて考えるようになりました。

あなたは、人生を神様と共に歩んでいますか？上り坂の時も、平坦な道を行くときも、(神様に信頼を置きながら)歩み続けていますか？障害が無く、スムーズに進むことが出来るような道を行くときも、油断せずに神様に頼り頼みつつ歩み続けていますか？曲がり角に差し掛かり、角の向こうに何かあるのか分からない時はどうでしょうか。不安になって、歩み続けることをやめてしまいますか？それとも、信仰により、いつも共に居て下さる神様を覚え、歩み続けていますか？人生という道を、今日も神様と共に進み続けることが出来るよう、神様のお導きを祈りましょう。

聖歌 588 主とともにあゆむ

祈り お父様、喜んであなたと共に歩むことが出来ますよう、私たちの心を整えて下さい。イエス様の歩みをお手本として、あなたのご栄光を指し示す歩みが少しでも出来ますよう、お導き下さい。
イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

テキサス州 オースティン
ケイラ・ジョーンズ

7月28日(日)

満月のように輝く

聖書朗読 イザヤ 60:1~7

あなたがたは世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。

マタイ 5:14

何年も前の話になりますが、私はアルバニアから来たカップルと共に聖書を学び、そのカップルをバプテスマへと導きました。彼らは聖書を学ぶ機会が与えられたことに、とても感謝していました。当時はあまり理解できませんでしたが、今になって振り返ると、どうしてそんなに感謝していたのか分かる気がします。つい自分の物差しだけで物事を測ろうとしてしまいましたが、彼らは共産主義の独裁者のもと、霊的な暗やみの中にずっと居たのです。聖書を学び、キリストについて教えてくれた人々を通して、神様という光を初めて見たのです。それは彼らにとって、感謝と喜びに満ちたことでした。

「起きよ。光を放て。あなたの光が来て、主の栄光があなたの上に輝いているからだ。見よ。やみが地をおおい、暗やみが諸国の民をおおっている。しかし、あなたの上には主が輝き、その栄光があなたの上に現われる」とイザヤ書に記されています。私たち自身が輝くのではなく、上に居て下さる主が輝いておられることにより、私たちも輝くことができるのです。

「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」(II コリント 3:18)とパウロは記しています。霊的な旅の始まりでは、私たちは少しの光しか映せません。しかし、私たちは御霊のお働きにより日々変えられて、主の輝きをよりはっきりと映せるようになっていくのです。

讃美歌 533 くしき主の光

祈り 神様、イエス様をお送り下さりありがとうございます。私たちを日々変え続けて下さり、あなたのご栄光を指し示すために御用い下さい。
イエス様の御名を通してお祈りいたします。アーメン。

オレゴン州 グレシャム
リチャード N・アディ